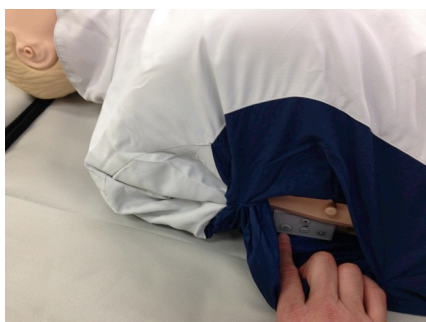


レサシアンとシムパッドの 使用方法

TSEC 20160823

金子 一郎、竹内 保男

1. レサシアン本体の電源を入れる



- レサシアンの右側面に電源スイッチがあります。左下の電源ボタンを押します。

1. レサシアン本体の電源を入れる



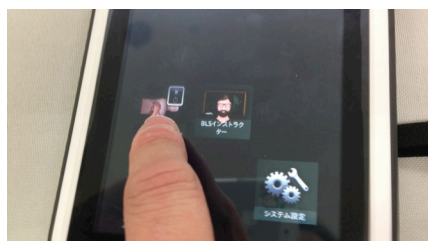
- 電源が入ると左の電源ボタンの緑ランプが点灯します。
- （右の緑ランプが点滅になります。）

2. シムパッドの電源を入れる



- SimPadの上側に電源ボタンがあります。長押ししてください。

3. 『BLS受講者』を選択する



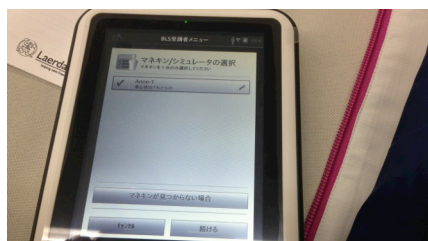
- シムパッドのメニュー画面から『BLS受講者』を選択します。
- 画面をタッチしてください。

3. 『BLS受講者』を選択する 練習か評価を選択



- 練習の場合は「練習」を選択します。
- 評価の場合は「評価」を選択します。
- 画面をタッチしてください。

3. 『BLS受講者』を選択する マネキンを選択



- 練習を選択すると、マネキンを選択する画面が表示されます。
- 対象のレサシアン本体と同じ番号を選択します。

3. 『BLS受講者』を選択する レサシアン本体番号



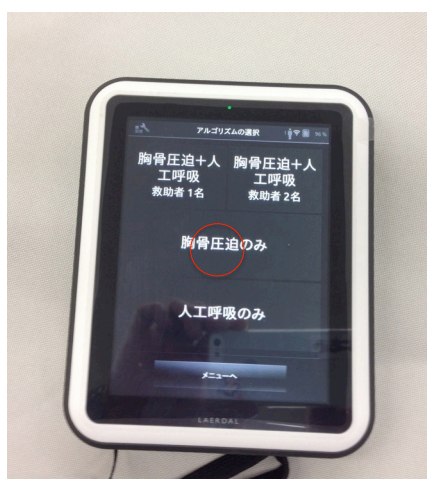
- レサシアン本体番号はマネキンの側面に表示してあります。
- 図のマネキンは Anne-1 です。

3. 『BLS受講者』を選択する マネキンを接続中



- 「OK」をタッチしてください。

4. 練習「アルゴリズムの選択」



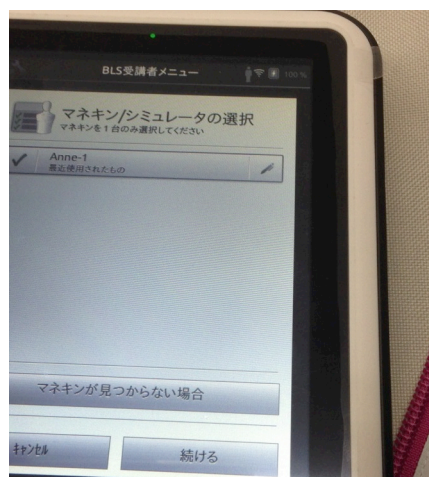
- 4通りの選択ができます。
- 最初は、胸骨圧迫のみを選択。

4. 練習「アルゴリズムの選択」 胸骨圧迫練習画面



- 胸骨圧迫練習画面です。
- これで練習開始です。

5. トラブルシューティング シミュレータと接続できない場合



- 講習中のトラブルのほとんどは、Wifi接続が切断されてしまうことです。
- この場合、再接続の必要があります。
- マネキン/シミュレータの選択画面で該当するマネキンが表示されない場合は、切断されています。

5. トラブルシューティング 電源



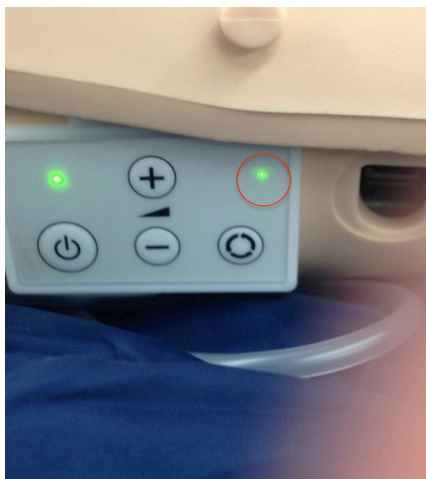
- まず、マネキンの電源が入っているのを確認します。
- 左の緑ランプの点灯を確認し、電源が入っていない場合は電源ボタンを押します。
- レサシアン、シムパッドとも一定時間が経過すると電源がオフになります。
(約30分)

5. トラブルシューティング WiFi



- 左の緑ランプが点灯し、電源が入っている場合は、WiFi を接続しなおします。
- 右の切替ボタン（トルグボタン）を長押しします。「ピピ」と電子音がしたら離して下さい。

5. トラブルシューティング WiFi再接続中



- 右の緑ランプが点滅します。
- 接続されると点灯します。
- 二つの緑ランプが点灯すると接続が完了します。

5. トラブルシューティング WiFi



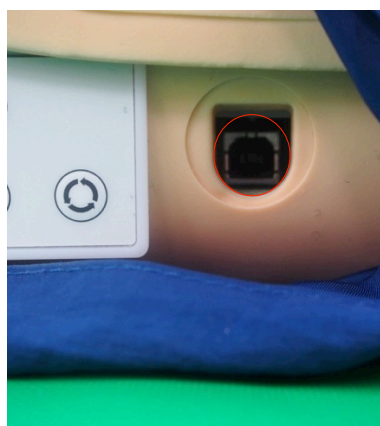
- それでも、表示されない場合は、シムパッド側のアプリケーションを終了し、その後、初期画面より『BLS受講者』の選択から操作を再度、行います。
- 再度、Wifi接続を試みて下さい。

5. トラブルシューティング WiFiで接続できない場合



- Wifiで接続できない場合は、ケーブルを使用して下さい。

5. トラブルシューティング WiFiで接続できない場合



- 上、下に注意してケーブルをシミュレーターと接続します。



5. トラブルシューティング WiFiで接続できない場合



- 上、下に注意してシムパッドと接続します。
- Aの見える側が上です。
- プラグの形状に合わせて差し込んでください。
- 上下逆に差し込むとシムパッドが破損します。
- 分からない場合は、無理に接続しないでください。

6. シムパッドの電源を切る



- コース終了時は、シムパッドの電源を切ってください。

7. レサシアン本体の電源を切る



- 最後に、レサシアン本体の電源を切ってください。